様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	河原アイペットワールド専門学校
設置者名	学校法人 河原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養関係専門課程	動物看護・栄養管理学科	夜・通信	37 単位	6 単位	
	トリマー学科	夜・通信	42 単位	6 単位	
	ドッグトレーナー・ペットビジネス学科	夜・通信	18 単位	6 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

河原学園閲覧システム シラバス検索にて公開 https://irweb.kawahara.ac.jp/kgsc/syllabus/SyllabusSearch.aspx 上記システムから「実務連携型授業」で抽出が可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	河原アイペットワールド専門学校
設置者名	学校法人 河原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公開 http://www.kawahara-gakuen.jp/finance.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	松山大学名誉教授、尾道市立大学名誉教授、大阪国際大学名誉教授・元学長	平成30年6月1日～令和2年5月31日	多様な分野における経験や有意義な知見を本法人の教育機関の運営に活かし、自律的な運営を促進する
非常勤	愛媛県議会議員	令和元年5月29日～令和2年5月31日	多様な分野における経験や有意義な知見を本法人の教育機関の運営に活かし、自律的な運営を促進する
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	河原アイペットワールド専門学校
設置者名	学校法人 河原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本校において授業計画書は「コマシラバス」という名称で定義され、管理・運用されている。コマシラバスの作成及び改訂は、毎年2月に、教育課程編成委員会の討議を受けた学内運営会議にて作成・改訂方針を決定した後に、3月までに全科目の作成・改訂を完了し、翌年度4月に当校ホームページにおける「シラバス検索」システムで公開し、4月に当年度の各科目第1回目の授業においてそれぞれ学生に配布している。コマシラバスは、配布後にも毎回の授業で参照され活用している。</p> <p>コマシラバスの作成及び授業利用については、学内共有されている「コマシラバス作成・運用ガイドライン」(以下「ガイドライン」)に基づき、科目担当者あるいは学科長が担当している。ガイドラインでは、コマシラバスの作成・運用の目的が授業及びカリキュラムの質保証・向上にあることが宣明されるとともに、記載事項と記載方針が詳細に定められている。まず、科目の基本情報として、①学科、②コード、③年度、④学年、⑤期、⑥分野名、⑦科目名、⑧単位、⑨授業形態、⑩実務連携型授業、⑪必修・選択、⑫前提とする科目、⑬展開科目、⑭関連資格、⑮担当教員、⑯ディプロマ・ポリシーとの関連及びカリキュラム・ポリシーとの関連といった項目の記載方法が、さらに、各コマの授業目標、授業主題、授業主題の展開方法や解説手順等の記載方法が示されている。また、成績評価の方法については、試験等の評価方法の他、「履修判定指標」としてその評価指標と評価基準を明示することが定められている。</p> <p>なお、上記「シラバス検索」は、本校学生、教職員はもちろん、インターネット環境を利用可能なすべての学外者も検索・閲覧可能となっている。</p>	
授業計画書の公表方法	河原学園閲覧システム シラバス検索にて公開 https://irweb.kawahara.ac.jp/kgsc/syllabus/SyllabusSearch.aspx
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位の認定については、河原アイペットワールド専門学校学則および河原アイペットワールド専門学校履修規程に定められており、講義、実習等に必要な時間の取得状況と筆記試験、口述試験、レポート提出、作品提出、実技試験等の方法により試験を行い、当該科目の成績を評価している。</p> <p>試験結果による成績評価については履修規程において100点を満点とし、S(90点以上)、A(80点～89点)、B(70点～79点)、C(60点～69点)、D(60点未満)の5段階で行い、Cまでを合格として単位認定することが定められている。なお、同じく履修規程において、入学前もしくは他の教育機関による履修成果を本校における履修単位として認定した場合の成績評価を「R」とすることが定められている。</p> <p>以上を校長の承認をもって最終的に単位認定としている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

総合的な学修成果の把握については、成績評価の方法とともに、GP (Grade Point) 及び GPA (Grade Point Average) を用いた客観的な指標による評価方法が履修規程に定められている。具体的には、まず、授業科目の試験得点に基づき、S (90 点以上)、A (80 点～89 点)、B (70 点～79 点)、C (60 点～69 点)、D (60 点未満) の 5 段階で成績評価を行っている。※本校以外で修得したもので本校が単位認定したのものについては R で評価。次に、この成績評価を以下の対照にしたがって GP の得点に換算する方法が定められている。

- (1) S (90 点以上) GP を 4 点とする
- (2) A (80 点～89 点) GP を 3 点とする
- (3) B (70 点～79 点) GP を 2 点とする
- (4) C (60 点～69 点) GP を 1 点とする
- (5) D (60 点未満) GP を 0 点とする
- (6) R (入学前・他の教育機関による学修成果を単位認定した場合)

※上記「R」については GP 換算および GPA 算出から除外される。

さらに、このように求めたすべての授業科目の GP から、以下の方法により GPA を算出し、各学生のすべての履修に対する総合的な成績評価を行う方法が定められている。

$$\text{GPA} = \frac{\text{(授業科目で得た GP} \times \text{その授業科目位数) の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の総和}}$$

このように算出された GPA は、学生指導の際の客観的材料としても用いられる。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページで履修規程を公開している
URL:<https://aipet.kawahara.ac.jp/wp-content/uploads/sites/6/12581a86a801bd82d2989911b6d2cee0.pdf>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定方針の策定については、河原アイペットワールド専門学校卒業認定・称号付与の方針(ディプロマ・ポリシー)に定められておりHPにて公開している。履修について必要な項目も規程を設定しておりHPにて公開している。</p> <p>卒業認定・称号付与の方針 (ディプロマ・ポリシー)</p> <p>本校では、動物に関わる幅広い知識技術を実践的に修め、広い視野と柔軟な思考力によって地域社会に貢献できる者に称号を付与する。具体的には、以下の三つの能力の習得を以って卒業要件とする。</p> <p>(1) 2年間のカリキュラムの履修を通し、人・社会・動物に関わる課題に対して動物愛護に基づいた動物関連業務従事者としての使命感とそれらに関わる知識・技術の専門家としての能力を身につけた者。</p> <p>(2) 論理的に考え、自己表現・コミュニケーション能力を有し、社会の変化に的確に対応できる柔軟性を持った者。</p> <p>(3) 企業・地域社会などのあらゆるコミュニティに寄与する組織的な活動能力を有する者。</p> <p>卒業認定の方法については、本校学則にしたがい、所定の課程を修了し所定の単位を修得した者に対して、校長が学校運営会議による確認を踏まえたうえで、卒業を認定し、卒業証書を授与している。さらに、単位の修得については、本校履修規程において、授業科目ごとに試験（筆記試験、口述試験、レポート提出等）を実施し、その試験結果の得点によって厳正に成績を評価し、単位認定を行うことが定められている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ホームページでディプロマ・ポリシーを公開している URL:https://aipet.kawahara.ac.jp/wp-content/uploads/sites/6/aipet_3houshin.pdf ホームページで履修規程を公開している URL:https://aipet.kawahara.ac.jp/wp-content/uploads/sites/6/12581a86a801bd82d2989911b6d2cee0.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	河原アイペットワールド専門学校
設置者名	学校法人 河原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.kawahara-gakuen.jp/finance.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.kawahara-gakuen.jp/finance.html
財産目録	http://www.kawahara-gakuen.jp/finance.html
事業報告書	http://www.kawahara-gakuen.jp/finance.html
監事による監査報告（書）	http://www.kawahara-gakuen.jp/finance.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 関係専門課程	動物看護・栄養管理学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	121 単位	92 単位	3 単位	26 単位	0 単位	0 単位
			121 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		48 人	0 人	2 人	7 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>河原アイペットワールド専門学校の教育理念とディプロマ・ポリシーを受け、以下の方針でカリキュラムを編成している。</p> <p>全国どの動物病院でも通用し、動物業界の発展に寄与できる動物看護師を育成する。</p> <p>①動物栄養学に精通し、代表的な病気や犬種ごとに必要な栄養素、食事方法を学び、健康を維持できる栄養管理を学び、それらを飼い主にアドバイスできるよう 30 時間におよぶ講義を通じ習得する。</p> <p>②動物医療に幅広く、深い知識を持ち、獣医師に指示される前に衛生面を考慮した検査、処置をできる技術を1年次に習得する。2年次では飼い主からの訴えや適切な問診から動物の疾病をある程度予測し、健康診断ができる技術を習得する。</p> <p>③外科看護に精通し、犬猫の解剖生理、バイタルチェック（生命兆候）、各検査手技に関わる知識、技術を習得する。2年次では応急処置、周術管理の知識、技術等実践</p>

を通じ習得する。
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>筆記試験、小試験、レポート、実技試験等（以下「試験等」という）を行い、評価する。</p> <p>出席時間数が授業時間数の3分の2に満たない者は、当該科目の評価資格を失う。</p> <p>授業科目の評価は、S（90点以上）、A（同、80点台）、B（同、70点台）、C（同、60点台）およびF（60点未満）とし、「C」以上を合格とする。</p> <p>評価に際しては、シラバス等で評価基準を周知し、その基準により評価する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>【卒業基準】</p> <p>卒業の認定については、河原アイペットワールド専門学校卒業認定・称号付与の方針(ディプロマ・ポリシー)に定められておりHPにて公開している。履修について必要な項目も規程を設定しておりHPにて公開している。</p> <p>また2月末に校長を委員長とする卒業認定会議を実施している。この会議において、講義、実習等に必要時間の取得状況と筆記試験、口述試験、レポート提出、作品提出、実技試験等の方法による試験結果により当該科目の成績を評価し、C以上を卒業と決定している。</p> <p>卒業認定・称号付与の方針(ディプロマ・ポリシー)</p> <p>本校では、動物に関わる幅広い知識技術を実践的に修め、広い視野と柔軟な思考力によって地域社会に貢献できる者に称号を付与する。具体的には、以下の三つの能力の習得を以って卒業要件とする。</p> <p>(1) 2年間のカリキュラムの履修を通し、人・社会・動物に関わる課題に対して動物愛護に基づいた動物関連業務従事者としての使命感とそれらに関わる知識・技術の専門家としての能力を身につけた者。</p> <p>(2) 論理的に考え、自己表現・コミュニケーション能力を有し、社会の変化に的確に対応できる柔軟性を持った者。</p> <p>(3) 企業・地域社会などのあらゆるコミュニティに寄与する組織的な活動能力を有する者。</p> <p>【進級基準】</p> <p>3月に校長を委員長とする進級認定会議を実施している。この会議において、講義、実習等に必要時間の取得状況と筆記試験、口述試験、レポート提出、作品提出、実技試験等の方法による試験結果により当該科目の成績を評価し、C以上を進級と決定している。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>各授業において授業評価テストを実施し、その日の授業の理解度をチェックしており、授業資料や授業展開などの改善につなげている。授業評価テストの成績不良者(得点が60%以下の者)に対しては補習を行い、コマシラバスに明記しているコマ主題細目、細目レベルなどの授業理解の大幅な遅れが出ないようにしている。連絡のない欠席については、教員が学生に連絡し状況確認を行っており、場合によっては保護者面談を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 （100%）	0人 （0%）	20人 （100%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） 動物関連企業に動物看護師として就職			
（就職指導内容） 担任教員は個別ヒアリングにより学生一人ひとりの志望と企業ニーズをマッチングさせ、応募に際しては、履歴書の添削、面接練習を実施している。また、学園としては毎年1月に企業採用担当者を招き就職セミナーを実施し、学生の就職への意識付けを実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 認定動物看護師			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 遅刻欠席が続いた場合、早期に学園カウンセラーや保護者との連携を強化している。 また、学業不振者については授業評価テストを実施しており、早期フォローを実施している。問題があると判断した新入生には、保護者及び高校担任からのヒアリングを実施し、学校教職員で共有する体制を構築している。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 関係専門課程	トリマー学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	87単位	37単位	5単位	45単位	0単位	0単位
			87単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		40人	0人	1人	4人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>河原アイペットワールド専門学校教育理念とディプロマ・ポリシーを受け、以下の方針でカリキュラムを編成している。</p> <p>どの企業の方針や経営理念にも適応でき、人と動物の絆を深めるトリマーを育成する。</p> <p>①トリミングの基礎・基本を専門分野（グルーミング理論、トリミング理論）の講義で理論的に習得する。専門器具の取り扱い・管理を適切に行うことや動物の個体にあったトリミングを2年間のグルーミング実習をカリキュラムに組み込むことにより達成する。</p> <p>②動物分野（スモールペット飼育学、動物健康管理学等）の講義で様々な動物の保管・管理を適切に行える幅広い知識を習得する。また動物の異変に迅速に気づき状態や怪我に対して、グルーミング実習で状況判断を行い、飼い主に適切な報告ができるようにカリキュラムに組み込み実践する。</p> <p>③専門分野（トリマーワーク演習、グルーミング理論等）の講義で飼い主の要望や生活状況からのカットスタイルの提案方法を習得し、2年間のグルーミング実習ではその実践や状況に応じ周囲への配慮や雑務、カルテの管理など幅広く業務に対応することをカリキュラムに組み込むことにより達成する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>筆記試験、小試験、レポート、実技試験等（以下「試験等」という）を行い、評価する。</p> <p>出席時間数が授業時間数の3分の2に満たない者は、当該科目の評価資格を失う。</p> <p>授業科目の評価は、S（90点以上）、A（同、80点台）、B（同、70点台）、C（同、60点台）およびF（60点未満）とし、「C」以上を合格とする。</p> <p>評価に際しては、シラバス等で評価基準を周知し、その基準により評価する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業基準】</p> <p>卒業の認定については、河原アイペットワールド専門学校卒業認定・称号付与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定められておりHPにて公開している。履修について必要な項目も規程を設定しておりHPにて公開している。</p> <p>また2月末に校長を委員長とする卒業認定会議を実施している。この会議において、講義、実習等に必要時間の取得状況と筆記試験、口述試験、レポート提出、作品提出、実技試験等の方法による試験結果により当該科目の成績を評価し、C以上を卒業と決定している。</p> <p>卒業認定・称号付与の方針（ディプロマ・ポリシー）</p> <p>本校では、動物に関わる幅広い知識技術を実践的に修め、広い視野と柔軟な思考力によって地域社会に貢献できる者に称号を付与する。具体的には、以下の三つの能力の習得を以って卒業要件とする。</p> <p>(1) 2年間のカリキュラムの履修を通し、人・社会・動物に関わる課題に対して動物愛護に基づいた動物関連業務従事者としての使命感とそれらに関わる知識・技術の専門家としての能力を身につけた者。</p> <p>(2) 論理的に考え、自己表現・コミュニケーション能力を有し、社会の変化に的確に対応できる柔軟性を持った者。</p> <p>(3) 企業・地域社会などのあらゆるコミュニティに寄与する組織的な活動能力を有する者。</p>

<p>【進級基準】 3月に校長を委員長とする進級認定会議を実施している。この会議において、講義、実習等に必要時間の取得状況と筆記試験、口述試験、レポート提出、作品提出、実技試験等の方法による試験結果により当該科目の成績を評価し、C以上を進級と決定している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) 各授業において授業評価テストを実施し、その日の授業の理解度をチェックしており、授業資料や授業展開などの改善につなげている。授業評価テストの成績不良者(得点が60%以下の者)に対しては補習を行い、コマシラバスに明記しているコマ主題細目、細目レベルなどの授業理解の大幅な遅れが出ないようにしている。連絡のない欠席については、教員が学生に連絡し状況確認を行っており、場合によっては保護者面談を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	12人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 動物関連企業にトリマーとして就職			
(就職指導内容) 担任教員は個別ヒアリングにより学生一人ひとりの志望と企業ニーズをマッチングさせ、応募に際しては、履歴書の添削、面接練習を実施している。また、学園としては毎年1月に企業採用担当者を招き就職セミナーを実施し、学生の就職への意識付けを実施している。			
(主な学修成果(資格・検定等)) JKCトリマーライセンスC級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	3人	8.3%
(中途退学の主な理由) 疾病等身体的要因に起因するもの2名(精神疾患系2名)、進路変更者1名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 遅刻欠席が続いた場合、早期に学園カウンセラーや保護者との連携を強化している。また、学業不振者については授業評価テストを実施しており、早期フォローを実施している。問題があると判断した新入生には、保護者及び高校担任からのヒアリングを実施し、学校教職員で共有する体制を構築している。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 関係専門課程	ドッグトレーナー・ペ ットビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	84 単位	50 単位	17 単位	17 単位	0 単位	0 単位
			84 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		34 人	0 人	2 人	3 人	5 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>河原アイペットワールド専門学校の教育理念とディプロマ・ポリシーを受け、以下の方針でカリキュラムを編成している。</p> <p>人と動物の共生について工夫、改良できるドッグトレーナー、ショップスタッフを育成する。</p> <p>①時代によって変化する動物に関わる法律や市場に適応し、犬、猫に限らず、小動物、鳥、熱帯魚など、様々な生き物の生態や習性、飼育方法など1年次のスモールペット飼育学Ⅰで基礎を履修し、2年次ではスモールペット飼育学Ⅱにおいて演習を通じ幅広い知識を身に付ける。</p> <p>②犬の行動心理を深く理解し、適切な犬の扱い方、犬の問題行動の解決に導く能力を身につけ実習を通じ習得する。</p> <p>③「生き物」という商品を取り扱う企業の方針や、経営理念に適応した販売戦略を立てられ、人と動物を取り巻く環境の改善方法を提案する人材を育成するために120時間におよぶペットショップ演習を通じた学修を含む。</p> <p>④人と動物の関係性や必要性を理解し、啓発活動及び啓蒙活動を行うことで動物が人間社会で人と共生できる方法を学ぶ。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>筆記試験、小試験、レポート、実技試験等 (以下「試験等」という) を行い、評価する。</p> <p>出席時間数が授業時間数の3分の2に満たない者は、当該科目の評価資格を失う。</p> <p>授業科目の評価は、S (90点以上)、A (同、80点台)、B (同、70点台)、C (同、60点台) およびF (60点未満) とし、「C」以上を合格とする。</p> <p>評価に際しては、シラバス等で評価基準を周知し、その基準により評価する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>【卒業基準】</p> <p>卒業の認定については、河原アイペットワールド専門学校卒業認定・称号付与の方針 (ディプロマ・ポリシー) に定められておりHPにて公開している。履修について必要な項目も規程を設定しておりHPにて公開している。</p> <p>また2月末に校長を委員長とする卒業認定会議を実施している。この会議において、講義、実習等に必要時間の取得状況と筆記試験、口述試験、レポート提出、作品提出、実技試験等の方法による試験結果により当該科目の成績を評価し、C以上を卒業と決定</p>

<p>している。</p> <p>卒業認定・称号付与の方針（ディプロマ・ポリシー）</p> <p>本校では、動物に関わる幅広い知識技術を実践的に修め、広い視野と柔軟な思考力によって地域社会に貢献できる者に称号を付与する。具体的には、以下の三つの能力の習得を以って卒業要件とする。</p> <p>(1) 2年間のカリキュラムの履修を通し、人・社会・動物に関わる課題に対して動物愛護に基づいた動物関連業務従事者としての使命感とそれらに関わる知識・技術の専門家としての能力を身につけた者。</p> <p>(2) 論理的に考え、自己表現・コミュニケーション能力を有し、社会の変化に的確に対応できる柔軟性を持った者。</p> <p>(3) 企業・地域社会などのあらゆるコミュニティに寄与する組織的な活動能力を有する者。</p> <p>【進級基準】</p> <p>3月に校長を委員長とする進級認定会議を実施している。この会議において、講義、実習等に必要時間の取得状況と筆記試験、口述試験、レポート提出、作品提出、実技試験等の方法による試験結果により当該科目の成績を評価し、C以上を進級と決定している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>各授業において授業評価テストを実施し、その日の授業の理解度をチェックしており、授業資料や授業展開などの改善につなげている。授業評価テストの成績不良者（得点が60%以下の者）に対しては補習を行い、コマシラバスに明記しているコマ主題細目、細目レベルなどの授業理解の大幅な遅れが出ないようにしている。連絡のない欠席については、教員が学生に連絡し状況確認を行っており、場合によっては保護者面談を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	14人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 動物関連企業にペットショップスタッフ、しつけ訓練士として就職			
(就職指導内容) 担任教員は個別ヒアリングにより学生一人ひとりの志望と企業ニーズをマッチングさせ、応募に際しては、履歴書の添削、面接練習を実施している。また、学園としては毎年1月に企業採用担当者を招き就職セミナーを実施し、学生の就職への意識付けを実施している。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 家庭犬トレーナー2級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 遅刻欠席が続いた場合、早期に学園カウンセラーや保護者との連携を強化している。 また、学業不振者については授業評価テストを実施しており、早期フォローを実施している。問題があると判断した新入生には、保護者及び高校担任からのヒアリングを実施し、学校教職員で共有する体制を構築している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料(年間)	その他	備考(任意記載事項)
動物看護・栄養管理学科	150,000円	490,000円	420,000円	
トリマー学科	150,000円	490,000円	420,000円	
ドッグトレーナー・ペットビジネス学科	150,000円	490,000円	420,000円	
修学支援(任意記載事項)				
入試方法による授業料減免、特待生制度・奨学生制度による授業料減免				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://aipet.kawahara.ac.jp/disclosure/
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)
<p>学校関係者評価委員会は、原則として年1回8月に校長が招集・開催し、本学全般の運営について、第1号委員(在学生保護者)第2号委員(卒業生)第3号委員(就職先企業担当者)第4号委員(高校教員)第5号委員(地域の有識者)第6号委員(教育課程編成委員会メンバー)の学校関係者より意見を聴き、これを踏まえて学校運営の組織的、継続的な改善に取り組むことを目的としている。</p> <p>また当委員会は、目的を達成するために、教育課程編成委員会での審議内容・成果を含んだ自己点検報告書の内容全般についての意見聴取も行っている。評価結果については、改善の担当者や対策など学校運営会議にて決定し対応している。</p> <p>なお、学校関係者評価委員会の運営については本校学校関係者評価委員会規程に定められている。</p>

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
在学生保護者	令和元年4月1日～ 令和2年3月31日	1号委員（保護者）
ペットstep	令和元年4月1日～ 令和2年3月31日	2号委員（卒業生）
ひごペットフレンドリー	令和元年4月1日～ 令和2年3月31日	3号委員（就職先企業）
松山東雲学園	令和元年4月1日～ 令和2年3月31日	4号委員（高校教員）
南堀端町内会	令和元年4月1日～ 令和2年3月31日	5号委員（地域の有識者）
教育課程編成委員	令和元年4月1日～ 令和2年3月31日	6号委員（教育課程編成委員）
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://aipet.kawahara.ac.jp/disclosure/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://aipet.kawahara.ac.jp
--